

同一主題内引用の評価

－他主題からの引用の影響度分析－

児玉 闊

東邦大学医学メディアセンター

1. はじめに

学術雑誌評価指標のひとつであるインパクト・ファクターは、異なる主題間での比較は不適切といわれている。それは、引用行動は主題によって異なるからである。一方、学術雑誌は、それぞれが多く数の学術雑誌と引用関係にある。その引用関係を主題単位で見た場合、同一主題もあれば、他主題のものもある。つまり、インパクト・ファクターの比較は同一主題内で行うことが適当とされているものの、インパクト・ファクター算出に使われる引用は、他主題からもあるというのが現状である。この場合、たとえばもし他主題からの引用が多かった場合、それは同一主題の比較に適当といえないことも考えられよう。その意味では、同一主題内の比較であっても、引用の主題別内訳の差異も考慮するべきと思われる。そこで今回、同一主題雑誌における他主題雑誌からの引用の影響の有無を明らかにするため、以下の3つの調査を行うこととした。

- (1) 同一主題、他主題からの引用はどの程度あるか。
- (2) インパクト・ファクターの主題内順位に、他主題からの引用の多さが影響しているものはないか。
- (3) インパクト・ファクターの増加要因に、他主題からの引用増加が影響していないか。

2. 対象

本調査では、Anesthesiology(麻酔学)分野の雑誌を対象とした。理由は Journal Citation Reports Science Edition (以下、JCR)でのこの分野の雑誌数の変化が少ないため、経年的変化をみる際、比較しやすいと考えたからである。

3. 方法

JCRの cited journal data を使い、被引用誌が Anesthesiology 分野の引用元誌を、自誌、同一主題誌、関連主題誌、他主題誌に分けて集計し、動向をみる。

本調査では、同一主題誌と他主題誌の間に位置するものとして、関連主題誌を設定した。JCRでは、ひとつの雑誌に複数の主題が付与されることがある。Anesthesiology が付与された雑誌でも、Anesthesiology 以外の主題も付与されているものがある。そのように同時に付与されている主題を関連主題とし、関連主題が付与されている雑誌すべてを関連主題誌とした。

※結果、および考察は、当日の発表で行う。

以上